

全鉄連流通動態調査結果表 平成29年9月分

(29.10.26)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		8月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	6,822	103.2%	52,002	101.7%	51,813	101.7%	7,011	102.8%	
	大阪	6,103	113.6%	27,783	102.7%	27,911	106.0%	5,975	97.9%	
	愛知	6,196	96.6%	3,260	129.3%	3,577	130.6%	5,879	94.9%	
	計	19,121	103.9%	83,045	102.9%	83,301	104.1%	18,865	98.7%	
形鋼	山形鋼	東京	19,972	104.3%	8,351	86.4%	9,540	107.9%	18,783	94.0%
		大阪	18,958	92.1%	10,373	120.5%	10,356	101.2%	18,975	100.1%
		愛知	13,512	99.5%	6,967	99.6%	7,630	108.0%	12,849	95.1%
		計	52,442	98.4%	25,691	101.6%	27,526	105.3%	50,607	96.5%
	溝形鋼	東京	15,142	99.6%	6,890	110.7%	6,930	110.2%	15,102	99.7%
		大阪	10,082	92.0%	7,254	138.4%	6,401	104.6%	10,935	108.5%
		愛知	8,249	94.5%	5,478	112.5%	5,462	102.1%	8,265	100.2%
		計	33,473	95.9%	19,622	120.1%	18,793	105.8%	34,302	102.5%
	H形鋼	東京	33,318	106.0%	19,133	83.7%	19,168	91.3%	33,283	99.9%
		大阪	38,864	93.5%	29,043	119.9%	27,268	101.2%	40,639	104.6%
		愛知	21,334	99.2%	13,859	108.5%	12,900	99.6%	22,293	104.5%
		計	93,516	98.9%	62,035	103.6%	59,336	97.5%	96,215	102.9%
合 計		179,431	98.2%	107,348	105.8%	105,655	100.8%	181,124	100.9%	
コ ラ ム	東京	10,536	103.0%	3,660	102.6%	3,334	102.2%	10,862	103.1%	
	大阪	10,557	114.8%	5,036	105.8%	3,805	112.0%	11,788	111.7%	
	愛知	3,926	137.7%	1,587	64.0%	1,843	131.1%	3,670	93.5%	
	計	25,019	112.3%	10,283	95.2%	8,982	111.4%	26,320	105.2%	
軽量C形鋼	東京	3,378	95.2%	2,762	141.6%	2,371	111.8%	3,769	111.6%	
	大阪	2,844	103.4%	1,860	90.4%	1,938	98.7%	2,766	97.3%	
	愛知	3,517	100.2%	1,458	107.1%	1,443	106.7%	3,532	100.4%	
	計	9,739	99.3%	6,080	113.2%	5,752	105.8%	10,067	103.4%	
総 計		233,310	100.0%	206,756	104.2%	203,690	102.7%	236,376	101.3%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京31 大阪21 愛知15 合計67社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。